スクラムを組んで！

寄居町青少年健全育成町民会議

寄居町青少年健全育成町民会議では、青少年の健全育成を広域的、総合的に推進するために、町内の学校やＰＴＡ、民生委員･児童委員など、青少年と関係する団体･機関が連携して、活動を展開しています。今年度の活動や青少年に向けたメッセージをご紹介します。

青少年の非行・被害防止特別強調月間キャンペーン(7月)

町内3中学校区の健全育成協議会と共に、町内の駅前等でキャンペーン活動を行い、3日間で延べ117人が参加しました。近年、ＳＮＳ等で青少年がだまされたり脅されたりして、自身の裸の画像などを送らされてしまう「自画撮り被害」等の性犯罪被害が増加しています。青少年のインターネットを介した犯罪被害の防止に重点をおいて、青少年の非行・被害の防止を呼び掛けました。

視察研修(12月)

足利市の障害者支援施設「こころみ学園」を訪問しました。学園には、1950年代に特殊学級（現在の特別支援学級）の中学生たちとその担任教師によって開墾したブドウ畑があり、そこで収穫したブドウからワインを作っています。創設当時から、障害のある方々も大切な働き手として捉え、社会的自立を実現しています。障害のある方々と向き合うその姿勢から、青少年の健全育成にも通じる重要な心構えを学びました。

併せて日本最古の学校史跡である「足利学校」も訪問し、充実した研修となりました。

道徳講演会･実践発表会(1月)

この講演会・発表会は「道徳のまち・寄居」を目指し、心のつながりを大切にした地域づくりを目的に開催している事業です。3回目となる今回は、町内中学生を中心に286人が参加しました。

【道徳講演会】

講師に玉川大学客員教授の常見昌弘先生をお招きして、「社会の一員としてよりよく生きるために」というテーマで講演していただきました。常見先生は、全国高等学校野球選手権大会の大会歌である「栄冠は君に輝く」を作詞した加賀大介氏の半生や、今年開催される東京オリンピック･パラリンピックに触れ「勝利や結果ばかりに注目するのではなく、負けることやそれまでの努力、周囲のサポートがあることも忘れずに生活してほしい」と、生徒たちにメッセージを送ってくれました。

【実践発表会】

町内小･中学生と保護者が道徳をテーマに目標を立て、半年間実践してきた成果について発表しました。

多くの人に寄居町を好きになってほしい、町を訪れた観光客にまた来てほしいと願い「家の周りのゴミ拾い」を目標にした児童は、家族も協力してくれたことを発表しました。また、「あいさつ」について目標を立てた生徒は、自分から積極的にあいさつをすることで、周りの友達にもあいさつの輪を広げ、一緒に笑顔の輪も広がってほしいと発表してくれました。

いずれの発表も児童･生徒が「社会の一員」であることや、保護者は「子どもたちの手本」であることの意識が感じられる発表会となりました。

行政インフォメーション information

スクラムを組んで！

子どもたちのための町づくりを

寄居町青少年
健全育成町民会議

会長　加藤　勝己

今年度、会長という職に就かせていただきました。会長という役はやはり大役で、昨年度まで当会副会長と男衾地区青少年健全育成協議会の会長を10年間務め、県の青少年育成功労賞を受賞された吉田前副会長のご功労には敬服いたします。

近年では、少子化や生活様式の多様化の影響もあると思いますが、少年世代の子どもがいない世帯にとっては、普段の生活で地域の子どもたちと関わる機会というものは多くありません。きっと、地域の大人と子どもたち（とその家族）の双方が意識して関わろうとしなければ、交流の機会はなかなか訪れないのだと思います。

「地域交流」が子どもたちやその家族に求められているかは分かりませんが、子どもたちの成長に一翼を担うと感じています。子どもたちも立派な社会の一員です。世の中には、家族や学校の先生以外にも、たくさんの「知らない大人」がいて、社会を形成しています。地域の大人と関わることで、何か叱られることもあるかもしれませんし、新しい発見や新しい目標ができるかもしれません。そういったさまざまな経験を得ることで、子どもたちが多様な価値観を受け入れることのできる人間に成長していけるのではないかと思います。そして、子どもたちがさまざまな経験ができるように、安全で健全に暮らせる環境づくりをしていくことが、私たち地域の大人の責務ではないかと感じています。

「ONE TEAMで知識を知恵に」

城南地区児童生徒
健全育成協議会

会長　黒瀬　秀明

日頃より、青少年の健全育成活動にご理解をいただきありがとうございます。子どもたちの安全のため、朝夕の登下校時に、地域の方々が見守り活動を行ってくださる姿や、学校活動におけるさまざまな事業へのご協力を目にしますと、常に地域の皆さんへ「感謝」の気持ちを持ち、「ありがとう」の言葉で伝えなければならないと考えています。

子どもたちが心身共に健やかに成長することは、私たち保護者ばかりでなく、地域の誰もが願うものであると思います。子どもたちの元気な姿が地域にあることは、それだけでもその地域が平穏なところなのだと感じるものです。そうなるためには、私たち大人が正しい道しるべとなるべく、行動しなければならないと考えています。

今日、子どもたちを取り巻く環境は、学習面・生活面を問わず、変化のスピードが以前とは全く違うように感じる方も少なくないと思います。子も親もインターネットなどを通じて大量に放出される情報から、自分に合ったものを選択する力が求められる時代となりました。情報端末が家庭に普及し「知識」そのものを得ることは容易な時代となりましたが、子どもたちにとって知識を使いこなすということは、まだまだ不得手な分野です。その知識を「知恵」に変えるものの一つが「体験」であり、経験豊富な地域の皆さんとの交流活動であると思っています。

これからも家庭、学校、地域が一つ（ONE TEAM）となって、子どもたちの成長を促せるよう、ご協力をお願いします。